

札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート

シーニックバイウェイは、魅力あふれるまちづくりを進める取り組みです

シーニックバイウェイとは、「景観」（英語でシーン）の形容詞「シーニック」と、「わき道」を意味する「バイウェイ」を組み合わせた言葉で、アメリカを発祥とする、まちづくりの制度です。

地域の活動や魅力を“みち”でつなぎ、地域と行政の連携によって、魅力あるまちづくりを進めていく取り組みです。

札幌市南区では、平成19年度より、町内会、まちづくり団体、商店街、大学、集客施設など、様々な団体で取り組みを進め、平成23年7月、シーニックバイウェイ北海道推進協議会より、札幌市内では初めてシーニックバイウェイ北海道の指定ルートに認定されました。

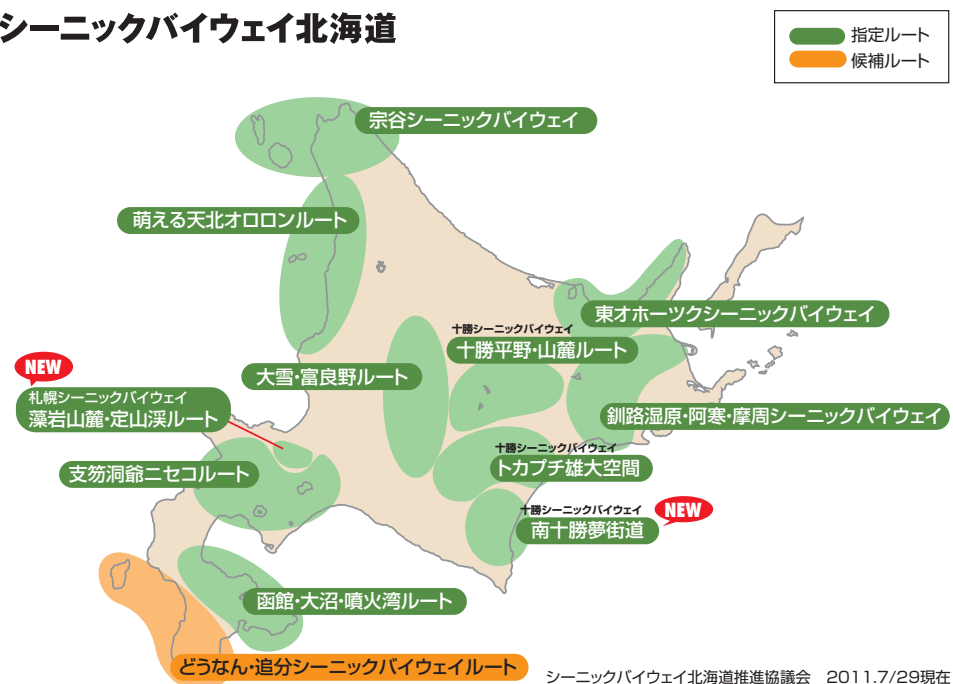
南区におけるシーニックバイウェイの仕組み

行政 (活動のサポート) ← 連携による地域資源の保全・改善 → 地域 (ルート活動)

「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」

「住んでよし、訪れてよし」のまちづくり

シーニックバイウェイ北海道



※シーニックバイウェイの活動を行っている地域は「ルート」と呼ばれており、道内では現在、指定ルートが11、候補ルートが1あります。

ルートのテーマは「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりです

札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルートは、藻岩山麓から、石山、簾舞地区を抜けて定山溪方面へと続く国道230号と、芸術の森地区へと続く国道453号を中心とした、**南区全域**です。

南区は札幌市の約60%の面積を占め、数多くの魅力的な地域資源が点在しており、シーニックバイウェイの活動を通して、それらの魅力をつなげ、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを目指しています。

(詳しくは **札幌シーニック** **検索** <http://www.scenic-byway.com/>)



Map labels and activity icons include:

- 果樹園 (Fruit Orchard)
- 乗馬体験 (Horse Riding Experience)
- 真駒内公園 (Makunai Park)
- 農産物販売 (Agricultural Product Sales)
- アイヌ文化交流センター (Ainu Cultural Exchange Center)
- 旧黒岩家住宅 (旧簾舞通行屋) (Old Kuroiwa Family Residence (Former Makinari Through House))
- エドウィン・ダン記念館 (Edwin Dan Memorial Hall)
- カヌー体験 (Canoeing Experience)
- 小樽定山溪線 (Otaru Chiyodani River Line)
- 石山線 (Ishiyama Line)
- 石山緑地 (Ishiyama Green Space)
- リージュ体験 (フッス) (Riuge Experience (Fuss))
- 豊平峡ダム (Toyohira Gorge Dam)
- 沿道の花壇整備 (Roadside Flower Bed Maintenance)

Sapporo Scenic Byway